



地震の際の電気火災対策を!

阪神・淡路大震災、東日本大震災の
出火の6割以上が電気に起因しています。

地震の際の火災には
「地震発生直後の火災」と「停電復旧後の火災」があります!

地震発生直後の火災

地震の揺れで
電気器具に可燃物が接触

可燃物に着火



停電復旧後の火災

地震で停電が発生
家具が転倒し、電源コードが破損
電気が復旧し、通電後、コードがショート

可燃物に着火



電気火災を防ぐには

かんしん 感震ブレーカーの設置が有効です!

「感震ブレーカー」は地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

主な感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ
(内蔵型)

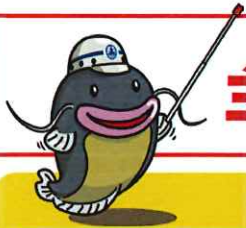
分電盤タイプ
(後付型)

コンセント
タイプ

簡易タイプ



詳しくは裏面で >>>



主な感震ブレーカーの種類

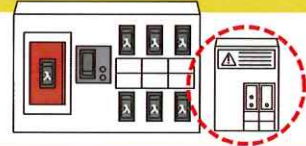
分電盤タイプ（内蔵型） 10～15万円程度（工事費含）

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、3分間警報音で知らせた後、ブレーカーを切って住宅内の電気を遮断



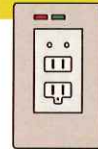
分電盤タイプ（後付型） 5～7万円程度（工事費含）

分電盤に感震機能を後付けするタイプでセンサーが揺れを感知し、3分間警報音で知らせた後、ブレーカーを切って住宅内の電気を遮断



コンセントタイプ 2万5千円程度（工事費含）

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントの電気を遮断
※常時通電が必要な医療機器を使用している世帯も設置できます。



分電盤タイプ、コンセントタイプの感震ブレーカーは、電気工事が必要です。区民および区内在勤の方は、一部商品について、通常価格より2割程度値引きしたあっせん価格でご購入できます。商品や設置のご相談については、下記までお問い合わせください。
※工事の内容により、上記価格を超える場合もあります。

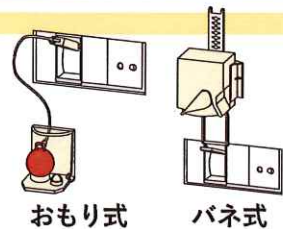
あっせん問い合わせ先

電気安全のことなら東京世田谷電設工業協同組合（官公需適格組合）まで

電話 03-3412-5821 HP <http://www.setagayadensetsu.or.jp>

簡易タイプ

自分で取り付けることのできる「簡易タイプ」の感震ブレーカーは、区民および区内在勤の方を対象に、あっせん価格で購入できる商品もあります。各総合支所やまちづくりセンターで配布している「世田谷区防災用品あっせんのお知らせ」をご覧ください。



世田谷区では、次のような感震ブレーカーを推奨しています。分電盤タイプは、一般社団法人日本配線システム工業会の「感震機能付住宅用分電盤 WDS007付2」の規格で、定める構造および機能を有するもの、コンセントタイプおよび簡易タイプは、一般社団法人日本消防設備安全センターの推奨を有するものです。



準備しましょう!



感震ブレーカーが作動すると、電気が止まり、住宅内の照明が消え、夜間は、避難行動が妨げられる場合があります。

- 事前に、家具を固定し、必ず保安灯（自動点灯）や懐中電灯を準備しましょう。
- 電気が必要な医療機器を使用している場合は、バッテリーを準備しましょう。